

質問 防犯上危険な箇所、放火や火災が起きた場所、交通事故が起きやすい交差点などの分析等を、警察・消防など各関係機関と連携して行うことが、防犯上、交通安全上重要と考えるが、市の取り組みは。

答弁 ①都で購入費の補助を実施しているが、管理費用や個人情報管理の運営方針などの検討課題がある。②市の公共施設全体で240台設置している。現在、増設事例等を調査研究していく。

質問 設置や活用方法について、研究、検討しているが、映像の提供に警察との協議を要するなどの課題がある。他市の状況や先進事例等を調査研究していく。

答弁 ①設置や活用方法について、研究、検討している。②映像の提供に警察との協議を要するなどの課題がある。他市の状況や先進事例等を調査研究していく。

質問 認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けることができる環境づくりのために、①公費で保険料を負担する個人賠償責任保険の導入を。②GPSで位置情報を確認するの推進を基本とした市の取り組みは。

答弁 介護する方の精神的・肉体的負担を軽減するための支援や、認知症に対する正しい理解の普及・啓発のため、認知症サポーター養成研修や徘徊模範訓練の実施等の取り組み

質問 教育と福祉が連携した、切れ目のない発達支援策について、①民設民営の(仮称)昭島市児童発達支援センターへ移行しても必要な子どもには、マンツーマンでの支援を継続していくのか。②障害のある子どもの学齢期における支援を継続するため、放課後等デイサービスのフ

答弁 ①子どもの特長や成長に応じ、必要な支援が実施されるよう協議していく。②支援の継続性から、事業の実施を視野に入れている。

質問 市民が主体的に参画し、協働していくまちづくりについて、①民間の資金やノウハウを活用し、連携

答弁 ①他市の取り組みや効果などを踏まえ、多角的に研究していく。②生活困窮者自立支援事業の枠組みや専門機関との連携の中で、可能な限り支援に努める。③プラスチックごみの削減



安全・安心なまちづくりについて

自由民主党昭島市議団 山本 一彦 議員



市民と協働してまちづくりをすすめる

自由民主党昭島市議団 おおたけ 貴恵 議員

一般質問 (要旨)



頼んだよ!! (駅伝大会)



誰もが安心して暮らせるまちづくりについて

公明党昭島市議団 赤沼 泰雄 議員



住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりについて

公明党昭島市議団 吉野 智之 議員

質問 現在の生産緑地面積を維持できるように特定生産緑地制度の周知に努める。

答弁 ①高額の保険料に対する財源措置など大きな課題がある。他市の取り組み等を注視し、どのような対応が可能か研究していく。

質問 増加傾向にある一人暮らしの高齢者等の日常的な安全確認の必要性が高まる

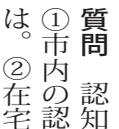
答弁 ①福祉団体等との連携構築、実施方法の検討や財源確保等の課題もあり、研究していく。

質問 給付型奨学金制度について、①田中孝奨学金基金を将来的に持続させていくことが必要。今回3名から70万円の寄附があった経緯は。②現在の運用における進捗状況及び今後のスケジュールは。

答弁 ①寄附申し出の折、奨学金制度について紹介し、制度に賛同をいただいた。

質問 国が行う施策や景気動向だけに希望を持つのみでなく、市民の所得向上により個人市民税を上げていくことが重要であると考え

答弁 ①寄附申し出の折、奨学金制度について紹介し、制度に賛同をいただいた。



1画下段より

自由民主党昭島市議団

質問 認知症対策について、①市内の認知症患者の人数は。②在宅と施設との費用負担は。③家族の不安を解消するための取り組みは。

答弁 ①主治医の意見書の中で、要介護・要支援認定の高齢者5千211人中3千789人。②1人あたり月額平均で居宅介護サービス給付費は11万8千759円、施設サービス給付費は25万2千460円。③他市の情報を捉えながら調査研究していく。

質問 中期財政計画において平成32年度法人市民税が大きく落ち込む見通しの中、地方消費税の精算について、消費の偏在を解消するため、配分の見直しが行われるが、市の考えは。

答弁 地方消費税の精算については、最終消費地に課税することが原則である法体系のため、その趣旨を逸脱しないよう国に強く要請を行っている。

質問 国が行う施策や景気動向だけに希望を持つのみでなく、市民の所得向上により個人市民税を上げていくことが重要であると考え

答弁 ①寄附申し出の折、奨学金制度について紹介し、制度に賛同をいただいた。

質問 特別養護老人ホーム等看取り対応改修費補助金

答弁 ①改修の具体的な内容は。②看取り施設の内容及び対応している介護施設の数は。③終末期にある利用者が家族に見守られながら、最期の大切な時間を一緒に過ごすため、既存の居室に家族の宿泊が可能となる改修を行うものである。④現在、12施設中6施設で個室や静養室にて、看取り対応を実施している。